

第一回 普通預金って安全？利息が高い金融機関はどこ？

私たちにとって、一番身近な金融商品といえば預貯金でしょう。銀行などに預けるお金を「預金」、農協などに預けるお金を「貯金」といい区別していますが、基本的にはお金を預けることで利息がもらえる点は変わりません。預貯金の中でも、代表的なものが、私たちが普段お財布代わりに使用している「普通預金」になります。今回は、この普通預金についてお話していきましょう。

普通預金は、預入れや引出しが自由にでき、給与や年金などの受け取りや公共料金等の支払いにも活用できる金融商品です。半年に1回の利息がもらえるのが一般的であり、銀行や信用金庫など街の中にある金融機関で取り扱われています。お財布代わりに自由に使える反面、私たちが預ける普通預金は、金融機関に万が一のことがあった場合において全額保護されるわけではありません。必ずしも安全というわけではないのです。保証されるのは、1つの金融機関に対して、預金者1人あたり1,000万円までの元本とその利息になります。これは、普通預金だけでなく、定期預金などの他の一般的な預金も合算した金額になります。それ以上の金額は、戻らない可能性があり、これをペイオフと呼んでいます。したがって、多くの資産をお持ちの方は、複数の金融機関に預けることでこの問題には対応する必要があるといえます。

それでは、利息が高い金融機関にはどんなところがあるのでしょうか？元本保証がされる1,000万円までを預けるという考え方であれば、リスクを取らずにすむため、利息が高い金融機関に預ける方がお得です。下記に主な銀行における通常の普通預金金利（2010年2月19日現在、税引前年利率）の比較表を記載します。

都市銀行・地方銀行など		インターネット専業銀行など	
みずほ銀行	0.04%	ジャパンネット銀行	0.06%～0.10%
三菱東京UFJ銀行	0.04%	セブン銀行	0.09%
三井住友銀行	0.04%	ソニー銀行	0.02%
りそな銀行	0.04%	イーバンク銀行	0.05%
三菱UFJ信託銀行	0.04%	住信SBIネット銀行	0.06%
住友信託銀行	0.05%	じぶん銀行	0.05%
新生銀行	0.04%	スルガ銀行ANA支店等	0.08%
ゆうちょ銀行	0.05%	シティバンク e-セービング	0.10%
地方銀行	0.02～0.04%		
信用金庫	0.02～0.05%		

※ジャパンネット銀行は、100万円未満の場合0.06%、100万円以上1,000万円未満の場合0.08%、1,000万円以上の場合0.10%

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

※シティバンク e-セービングは、預入金額 1,000 万円までの金利を表す

表を見ると、通常の銀行よりもインターネット専門銀行やインターネット支店の方が普通預金の金利は高いことが分かります。もちろん、各銀行によって特徴が異なりますので、実際には普通預金の金利だけで銀行を選択されることは少ないと思いますが、仮に普通預金として預けるのであれば、シティバンクの e-セービング、セブン銀行、スルガ銀行のANA支店、ジャパンネット銀行などが他の銀行よりも金利が高いため、お得感があるといえます。また、全国各地にある郵便局を活用するのであれば、金利も通常の銀行より高く、利便性も高いゆうちょ銀行に預けるのもよいと思います。

普通預金の金利は、低利率であり、あまり利息はつかないと思われる方も多いと思いますが、この経済環境下においては少しでも利息がもらえる銀行に預けることも、「お金を減らさない、少しでも増やす」という意味の『節約術』の一つとして実践されてみてはいかがでしょうか。